



奈良高専Aチーム「ロボット名：大和」が全国優勝

～みんなの「想い」で～

機械工学科5年 山西 僚介

僕は今年、同学年の菅田君達とともに最後のロボコンに臨みました。僕にとっても、みんなにとっても、今年の大회는絶対に負けれないものでした。退職された勢田先生が最後に指導されていたのも僕達、熱心に教育してくださっていた諸先輩方が見ていた最後の世代も僕達でした。

様々な想いが今年の僕たちの最後のロボコンには詰められていました。8年前に発足されたロボコンプロジェクト、積み上げられてきた伝統や技術は本当に大きなものです。

ロボコンプロジェクトの力を直々に受け継いできた僕たち

ちが、この8年間の想いを絶対に形にする。そう、「優勝し
かありえない」。そんな気持ちで、チームは結成されました。

「人事を尽くして天命を待つ」今大会での結果は、まさにこの言葉が体现された結果だと思えます。製作したロボット「大和」、優勝を決めたその瞬間は、全力を尽くしてくれたチームメンバー、支援して下さった多くの先生方、悔し涙を飲んだOBの方々、多くの人たちによって尽くされてきた努力が、真に報われた瞬間でした。

高専の5年間でこれほどの経験ができたこと、そしてこんなに素晴らしい人々に関われたこと、その想いを成し遂げられたことを、本当に誇りに思えます。



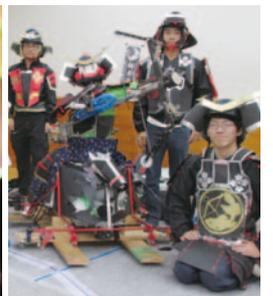
ロボコンBチーム 射抜け！わぶさめくん

Bチームリーダー 電子制御工学科3年 濱口 翔大

私たちBチーム「射抜け！わぶさめくん」は、全国大会のエキシビションに出演しました。エキシビションには全国大会に進めなかったロボットから、アイデアの優れた2台が招待されました。全国大会の舞台上で「まるで人のように弓を扱い、輪をボールに入れる」というアイデアを実現したロボットを披露することが出来ました。「観客の心を射抜く」という強い思いを全員が持ち、ここまで来たことを本当に嬉しく思います。また、来年度も全国大会の舞台上に立てるように努力していきたいと思えます。

最後に、この場をお借りしまして、私達を支えてくださった先生方、校長先生、事務職員の方々、そして最後まで

応援して下さった皆様に感謝いたします。本当にありがとうございました。



全国高等専門学校ラグビー大会準優勝！

マネージャー 情報工学科5年 西岡 祐希

物質化学工学科5年 西村 知華

1月4日から第46回全国高等専門学校ラグビー大会が、今年も神戸のユニバー競技場で開催されました。奈良高専は10年連続15回目の出場です。昨年11月に行われた近畿大会決勝では10-27で神戸高専に敗れ、悔しい思いを胸に全国大会へ臨みました。

全国大会初戦の相手は久留米高専でした。試合開始直後から着実に3トライを決め、21-0で前半戦を終えました。後半戦でさらに2トライを追加し、33-0で初戦を突破しました。

準決勝の相手は近畿大会で敗れた神戸高専でした。奈良

は堅い守りを崩さず、3-0で前半戦を終えました。後半戦では1トライを奪い合い、奈良はさらにペナルティーゴールで得点を加え、13-5で勝利を収めました。近畿大会での雪辱を果たし、決勝へと進みました。

決勝の相手は、昨年も全国大会決勝で戦い、0-50で大敗した仙台高専(名取)でした。前半戦は仙台高専に2トライを許し3-12で折り返しました。後半戦も仙台の先制で3-20となりましたが、ここから反撃を見せ奈良は連続3トライ。24-20と逆転したのは残り1分を切った時間帯でした。仙台の得点を上回ったその瞬間、応援席の方々は総立ちだったようです。しかし、ラストワンプレーで仙台にトライを奪われ、24-25でノーサイドを迎えました。全国優勝は果たせませんでした。見る人の心を震わせる、言葉では言い表せないほどの熱い試合でした。

ご家族の方々、奈良高専OBの方々、先生方、また多くの関係者の方々、ラグビー部の活動へのご理解とご支援をありがとうございました。

